

令和6年11月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

令和6年11月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月 日	曜	内 容 等
12月 9日	月	分科会・常任委員会
12月10日	火	分科会・常任委員会
12月11日	水	分科会・常任委員会
12月12日	木	分科会・常任委員会
12月17日	火	委員会（分科会長報告・採決）
12月19日	木	分科会
12月20日	金	委員会（分科会長報告・採決）

目 次

(12月17日)

1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	2
採決	5

(12月20日)

1、開催日時・場所	7
2、出席者	7
3、付議事件	8
4、経過	
分科会長報告	8
採決	11
5、審査結果報告書	14

1 2 月 1 7 日

(分 科 会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所

令和6年12月17日

自 午前11時 1分
至 午前11時15分
於 本 会 議 場

// 山下 博史 君
// 中村 泰輔 君
// 千住 良治 君
// 坂口 慎一 君
// 清川 久義 君

2、出席委員の氏名

委 員 長 宅島 寿一 君
副 委 員 長 まきやま大和 君
委 員 田中 愛国 君
// 小林 克敏 君
// 中山 功 君
// 溝口 芙美雄 君
// 瀬川 光之 君
// 外間 雅広 君
// 堀江ひとみ 君
// 山田 朋子 君
// 浅田ますみ 君
// 山口 初實 君
// 川崎 祥司 君
// 前田 哲也 君
// 深堀ひろし 君
// 中島 浩介 君
// ごうまなみ 君
// 松本 洋介 君
// 吉村 洋 君
// 近藤 智昭 君
// 坂本 浩 君
// 大場 博文 君
// 宮本 法広 君
// 中村 一三 君
// 石本 政弘 君
// 堤 典子 君
// 饗庭 敦子 君

// 鵜瀬 和博 君
// 初手 安幸 君
// 本多 泰邦 君
// 山村 健志 君
// 中村 俊介 君
// 大倉 聡 君
// 大久保堅太 君
// 白川 鮎美 君
// 富岡 孝介 君
// 湊 亮太 君
// 畑島 晃貴 君
// 虎島 泰洋 君

3、欠席委員の氏名

委 員 山本 由夫 君

4、委員外出席議員の氏名

な し

5、県側出席者の氏名

秘書・広報戦略部長 陣野 和弘 君
企 画 部 長 早稲田智仁 君
総 務 部 長 中尾 正英 君
危 機 管 理 部 長 今富 洋祐 君
地 域 振 興 部 長 小川 雅純 君
地域振興部政策監 渡辺 大祐 君
文化観光国際部長 伊達 良弘 君
文化観光国際部政策監 村田 利博 君
県民生活環境部長 大安 哲也 君

福祉保健部長	新田 惇一 君
こども政策局長	浦 亮治 君
産業労働部長	宮地 智弘 君
産業労働部政策監	石田 智久 君
水産部長	吉田 誠 君
農林部長	渋谷 隆秀 君
土木部長	中尾 吉宏 君
土木部技監	植村 公彦 君
教育委員会教育長	前川 謙介 君
会計管理者	井手美都子 君
選挙管理委員会書記長	楠本 雅一 君
監査事務局長	桑宮 直彦 君
人事委員会事務局長 (労働委員会事務局長併任)	田中紀久美 君
議会事務局長	中尾美恵子 君
警務部長	中川 正則 君

議会事務局職員出席者

次長兼総務課長	濱口 孝 君
議事課長	佐藤 隆幸 君
議事課課長補佐	永尾 弘之 君
議事課課長補佐	川原 孝行 君
議事課係長	山口祐一郎 君
会計年度任用職員	天雨千代子 君

6、付議事件の件名

第93号議案

令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）

第94号議案

令和6年度長崎県港湾施設整備特別会計補正
予算（第1号）

第95号議案

令和6年度長崎県流域下水道事業会計補正予
算（第1号）

報告第17号

令和6年度長崎県一般会計補正予算（第3号）

7、審査の経過次のとおり

— 午前11時 1分 開会 —

【宅島委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

なお、山本委員から欠席する旨の届が出ておりますので、ご了承をお願いいたします。

これより議事に入ります。

まず、今定例会における会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、山口初實委員、中村一三委員のご両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第93号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」ほか3件を議題といたします。

これより、各分科会長から 審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

石本総務分科会長。

【石本総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第93号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

地域振興部関係の「選挙費」に関し、「衆議院議員総選挙等にかかる経費であるが、令和3年度と同選挙に要した経費と比較すると、増減はどうかであったのか。」との質問に対し、「令和

3年度の同選挙と比較すると、1億2百万円強の増加であった。要因としては、物価高騰の影響や、区割り改定を周知するための経費を計上したことによるものである。」との答弁がありました。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

山下文教厚生分科会長。

【山下住文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第93号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

教育委員会関係の「公立高校等奨学給付金」に関し、「奨学給付金の支給対象者の増加が見込まれるということであるが、具体的な増加の理由は。」との質問に対し、「授業料以外の教育費負担を軽減するため、給付金を支給する事業であり、住民税所得割額が非課税の世帯、あるいは生活保護受給世帯が対象となっている。本年6月から所得税と個人住民税について定額減税が適用されており、定額減税後の所得割額を用いて判定を行った結果、住民税非課税世帯が増加する見込みであるため、その費用を計上したものである。」との答弁がありました。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】次に、観光生活建設分科会長の報告を求めます。

千住観光生活建設分科会長。

【千住観光生活建設分科会長】観光生活建設分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第93号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分ほか2件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第93号議案のうち関係部分について、文化観光国際部関係の「国際定期航空路線維持・拡大事業費」に関し、「長崎空港の国際線を利用する県民が、パスポートを取得・更新するための費用の一部を助成するとのことであるが、この事業のねらいは何か。」との質問に対し、「本事業は、本県として初の取組であり、そのねらいは大きく3点ある。1点目に、10月27日からの大韓航空による長崎ソウル線就航を契機に、より多くの県民に、ソウルを訪れていただくこと。2点目に、観光だけの往来にとどまらず、幅広い年代の方に歴史・文化・スポーツ等において、交流を深めていただくこと。3点目に、アウトバウンドの利用促進を図ることである。本事業を通し、搭乗率を上げ、国際定期航空路線の安定運航につなげてまいりたい。」との答弁がありました。

これに対し、「1月から3月に長崎空港を発着する旅行商品等を対象に、300名への助成となっているが、人数の根拠は。」との質問があり、「コロナ禍前の年間搭乗率を見ると、アウトバウンドにおいては、1月、2月が閑散期であることから、他の月と同程度の搭乗率まで引き上げ

るためには、試算で、ソウル線で250席、上海線で50席の搭乗が必要となり、合計300名と設定した。」との答弁がありました。

以上のほか、観光生活建設関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、観光生活建設分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】次に、農水経済分科会長の報告を求めます。

中村一三農水経済分科会長。

【中村（一）農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第93号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、水産部関係の「養殖マグロ赤潮被害緊急対策事業費」に関し、「足し網の整備が困難な漁場もあると思われるが、どう対応するのか。また、漁場の沖合化について、大規模な漁場整備も視野に入れて、県内各地の養殖業の振興を図っていくべきではないか。」との質問に対し、「今回支援する伊万里湾のクロマグロ生産者は、通常のハマチ等よりも大型の生簀を使用し、中には金網生簀もあり、鹿児島県等で普及している一般的な足し網の装着が難しいため、最初から通常よりも深い網に入れ替えることで、赤潮に強い生簀に少しずつシフトする支援を考えている。また、漁場の沖合化について、養殖業の

成長産業化を図るうえで、取り組む必要があるという声は伺っている。ただ、沖合は漁船漁業の使用や、船舶航行の支障など、各種問題もあるため、まずは各産地において、沖合化に向け、どのような可能性があるのかなどの検討が進むよう、これまで以上に後押ししていきたい。その中で、具体的に見えてきた部分について、既存事業も活用しながら、施設の整備等を進めていくことを考えている。」との答弁がありました。

次に、農林部関係の「農地中間管理機構事業促進対策費」に関し、「担い手への農地の集積・集約化を促進するための協力金として6,600万円増額することだが、集積面積は当初計画からどれくらい増えるのか。」との質問に対し、「担い手への農地集積面積は、当初計画から、190ヘクタール増加し、495ヘクタールとなる。また、農地の集約化面積は、当初計画から、20ヘクタール増加し、58ヘクタールとなる。」との答弁がありました。

次に、「経営体育成基盤整備費」に関し、「入札不落により、年度内に適切な工期が確保できないことによる繰越とのことだが、入札不落の理由はどのようなものか。」との質問に対し、「平戸市大野地区の基盤整備において、一般競争入札で一者応札があったものの、契約締結前に、応札業者が別途受注していた工事の工期延長により、予定していた技術者を配置できなくなり、辞退したためである。その後、建設業協会と意見交換を行ったところ、令和7年1月には数社が技術者を配置可能とのことであったため、繰越承認を得て、再度入札を行う予定である。」との答弁がありました。

以上のほか、農水経済関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】 以上で、各分科会長の報告が終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑、討論を省略し、直ちに採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【宅島委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、第93号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」について採決いたします。本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

【宅島委員長】 起立多数。

よって、第93号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

次に、その他の議案について一括して採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【宅島委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決、承認すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

— 午前11時15分 閉会 —

令和6年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第93号議案	令和6年度長崎県一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○
	第94号議案	令和6年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第1号）			○	
	第95号議案	令和6年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第1号）			○	
報告議案	報告第17号	令和6年度長崎県一般会計補正予算（第3号）	○			

1 2 月 2 0 日

(分 科 会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所

令和6年12月20日

自 午前10時 0分
至 午前10時18分
於 本 会 議 場

〃 中村 泰輔 君
〃 千住 良治 君
〃 坂口 慎一 君
〃 清川 久義 君
〃 鶴瀬 和博 君
〃 初手 安幸 君

2、出席委員の氏名

委 員 長 宅島 寿一 君
副 委 員 長 まきやま大和 君
委 員 田中 愛国 君
〃 小林 克敏 君
〃 中山 功 君
〃 溝口 芙美雄 君
〃 瀬川 光之 君
〃 外間 雅広 君
〃 堀江ひとみ 君
〃 山田 朋子 君
〃 浅田ますみ 君
〃 山口 初實 君
〃 川崎 祥司 君
〃 前田 哲也 君
〃 深堀ひろし 君
〃 中島 浩介 君
〃 松本 洋介 君
〃 吉村 洋 君
〃 近藤 智昭 君
〃 坂本 浩 君
〃 大場 博文 君
〃 宮本 法広 君
〃 中村 一三 君
〃 石本 政弘 君
〃 堤 典子 君
〃 饗庭 敦子 君
〃 山下 博史 君

〃 本多 泰邦 君
〃 山村 健志 君
〃 中村 俊介 君
〃 大倉 聡 君
〃 大久保堅太 君
〃 白川 鮎美 君
〃 富岡 孝介 君
〃 湊 亮太 君
〃 畑島 晃貴 君
〃 虎島 泰洋 君

3、欠席委員の氏名

委 員 ごうまなみ 君
〃 山本 由夫 君

4、委員外出席議員の氏名

な し

5、県側出席者の氏名

企 画 部 長 早稲田智仁 君
総 務 部 長 中尾 正英 君
危 機 管 理 部 長 今富 洋祐 君
地 域 振 興 部 長 小川 雅純 君
県 民 生 活 環 境 部 長 大安 哲也 君
福 祉 保 健 部 長 新田 惇一 君
こ だ も 政 策 局 長 浦 亮治 君
産 業 労 働 部 長 宮地 智弘 君
水 産 部 長 吉田 誠 君

農 林 部 長 渋谷 隆秀 君
土 木 部 長 中尾 吉宏 君
土 木 部 技 監 植村 公彦 君
教育委員会教育長 前川 謙介 君

議会事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長 中尾美恵子 君
次長兼総務課長 濱口 孝 君
議 事 課 長 佐藤 隆幸 君
議事課課長補佐 永尾 弘之 君
議事課課長補佐 川原 孝行 君
議 事 課 係 長 山口祐一郎 君
会計年度任用職員 天雨千代子 君

6、付議事件の件名

第117号議案

令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）

第118号議案

令和6年度長崎県県営林特別会計補正予算
（第1号）

第119号議案

令和6年度長崎県流域下水道事業会計補正予
算（第2号）

7、審査の経過次のとおり

— 午前10時 0分 開会 —

【宅島委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

なお、ごう委員、山本委員から欠席する旨の届が出ておりますので、ご了承をお願いいたします。

これより議事に入ります。

昨日、本委員会に付託されました、第117号議

案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）」ほか2件を議題といたします。

これより、各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

石本総務分科会長。

【石本総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第117号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、歳入予算について、総務部関係の「県債」に関し、「今回の補正予算445億円のうち、約4割を県債180億円の発行により負担する必要があるとのことだが、具体的な仕組みは。また、昨年度と比較してどうか。」との質問に対し、「今回、180億円の県債発行を予定しているが、補正予算に伴う地方債は、地方交付税による措置が、一般的な措置と比較して、非常に有利であり、早期に事業が執行できる形となっている。また、昨年度と比較すると、公共事業費の増加に伴い、県債も5億円ほど増額している。」との答弁がありました。

次に、地域振興部関係の「物価高騰に係る交通事業者・貨物運送事業者に対する支援」に関し、「昨年度も同様の支援が行われているが、今回の支援の目的や内容に違いはあるのか。また、これまでの支援の効果についてどのように捉えているのか。」との質問に対し、「支援目的については、これまでの支援と同様であるが、支援単価に関しては、一部の事業者において運

賃上げ等による価格転嫁が行われていることや、コロナ禍からの利用者数の回復、支援の終了に向けて段階的に対応していく必要があることなどを踏まえ、昨年度の3分の2程度の支援額としている。また、効果については、事業継続支援に取り組み始めた令和2年から、主要な公共交通機関の事業者数には減少がほぼ見られないことから、一定の効果が出ているものとする。」との答弁がありました。

これに対し、「事業継続はできているが、運転士不足を要因とするバスの路線廃止などが進んでいることから、路線の維持についても、必要な対策を講じていただきたい。」との意見がありました。

以上のほか、総務関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

山下文教厚生分科会長。

【山下文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第117号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

総務部関係の「私立学校施設等に対する物価高騰対策支援」に関し、「支援を受けるにあたって、各学校の手続きはどのようになるのか。」

との質問に対し、「今回の経済対策補正の趣旨を鑑み、可能な限り早く支援を行う必要があるため、各学校の申請手続きの負担を軽くし、県の審査も迅速に行うように考えており、区分方式での支援としている。各学校においては、自分の学校の生徒数がどの区分になるか確認すれば、比較的簡単に申請ができることとなっている。」との答弁がありました。

これに関連し、「各学校の申請手続きの負担を軽くすることは大事な視点であるが、スケジュール感はどのように考えているか。」との質問に対し、「昨年度も同様に区分方式での支援を行い、支出まで4ヵ月程度要したところである。昨年度と同様の方式であるため、4ヵ月以内に支援ができると考えており、スケジュールとしては今年度内の支出を目標としている。」との答弁がありました。

次に、福祉保健部関係の「介護サービス施設等、障害福祉サービス施設等物価高騰緊急支援事業費」に関し、「物価高騰分の支援は、昨年の11月にも行っているが、今回の対象施設数がその時と異なっているのはなぜか。」との質問に対し、「昨年の11月は食材料費のみの支援であったので、食材を提供しない訪問系の施設が対象から除外されていたためである。」との答弁がありました。

これに関連し、「食材料費の単価が、昨年度より上昇しているが、物価高騰によるものか。」との質問に対し、「令和3年3月と令和6年3月を比較すると、食材料費の物価高騰率は16.8%にのぼっており、今回新たに算定したところ、単価が上昇した。」との答弁がありました。

以上のほか、文教厚生関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】次に、観光生活建設分科会長の報告を求めます。

千住観光生活建設分科会長。

【千住観光生活建設分科会長】観光生活建設分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第117号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましてはいずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第117号議案のうち関係部分について、土木部関係の「国からの内示状況等」に関し、「国へ要望した結果の内示額により、今回補正予算を計上していると思うが、要望に対し、どの程度の内示となっているのか。」との質問に対し、「要望額 約508億円に対し、内示額は、約251億円であり、50パーセント近い内示状況となっている。」との答弁がありました。

これに対し、「全国の状況と比較すると、どうか。」との質問があり、「国が公表している市町事業も含めた内示額としては、全国18位、九州2位という状況である。」との答弁がありました。

これに対し、「今後も、必要性・緊急性を踏まえ、しっかりと国へ要望を行ってほしい。」との意見がありました。

以上のほか、観光生活建設関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、観光生活建設分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】次に、農水経済分科会長の報告を求めます。

中村一三農水経済分科会長。

【中村（一）農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第117号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、第117号議案のうち関係部分について、産業労働部関係の「事業者向けLPガス価格高騰緊急対策支援事業費」に関し、「飲食店などで使用される業務用LPガスについて、支援はどのように行うのか。」との質問に対し、「300社ほどあるLPガス販売事業者が、あらかじめ値引きした金額で飲食店などの使用事業者に請求し、その値引きを行った実績を県に報告いただき、支給することとしている。」との答弁がありました。

次に、水産部関係の「漁業経営セーフティネット活用促進事業費」に関し、「セーフティネットに加入が見込まれる3,470経営体とはどのようなものか。」との質問に対し、「2023年漁業センサスによると、令和5年において県全体で4,805経営体があり、そのうち、沿岸漁業経営体で加入が見込まれる経営体数を3,470として予算計上している。」との答弁がありました。

これに対し、「加入したくてもできない経営体もあるのか。」との質問に対し、「漁業を辞めたり、後継者に漁業を引き継がれるために退

会される方はいるが、加入したくてもできない経営体について正確な数字は把握できていない。」との答弁がありました。

次に、農林部関係の「肉用牛経営緊急支援事業費」に関し、「肉用子牛価格の下落に対する緊急支援として、約1億6,000万円計上してあり、四半期ごとの子牛取引価格の全国平均と県平均の差額の3分の1を支援するとのことだが、各平均価格はどのような状況か。」との質問に対し、「今年4月から6月までの第一四半期で、全国平均54万1,000円に対し、県平均が53万6,000円、7月から9月までの第二四半期で、全国平均49万9,000円に対し、県平均が48万3,000円となっており、いずれも全国を下回っている。」との答弁がありました。

これに対し、「本県の子牛価格が全国平均を下回る要因は何か。」との質問に対し、「繁殖雌牛の増頭に伴い、肥育牛と比較して、子牛の出荷頭数が多くなっていることや、本県が肥育の主産地から遠隔地にあることなど、構造的な課題が要因となっている。」との答弁がありました。

以上のほか、農水経済関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【宅島委員長】 以上で、各分科会長の報告が終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑、討論を省略し、直ちに採決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【宅島委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、第117号議案「令和6年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」について採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

【宅島委員長】 起立多数。

よって、第117号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

次に、その他の議案について、一括して、採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【宅島委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

それでは、今任期中の予算決算委員会は、本日が最後になるかと存じますので、閉会にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本年2月に、予算決算委員会の委員長を仰せつかりまして、まきやま副委員長をはじめ、委員の皆様方、理事者の皆様方のご協力を賜り、円滑に委員会を運営することができました。

ご承知のとおり、本委員会は、予算議案及び決算認定議案を審査対象に、常任委員会として設置され、予算審査に関しましては、令和6年度当初予算案をはじめ、6月～8月に県内各地で発生した養殖魚赤潮被害緊急対策等に係る補正予算案、今定例会において提案された総合経済対策等に係る補正予算案など予算議案全般について、活発な論議が展開されました。

一方、決算審査に関しましては、予算が議決の趣旨及び目的に沿って適正かつ効率的に執行されているか検証し、今後の財政運営及び事業

実施に当たって改善すべき事項について審査を行い、収入未済の縮減や未利用地の有効活用など、決算全般にわたり熱心な論議が交わされました。

本県は、厳しい財政状況の中、人口減少問題をはじめ、多くの課題を抱えております。

また、長引く原油価格や物価の高騰は、県民の生活に多大な影響を与えております。

このような状況の中、県民生活を支え、県勢の一層の発展を図っていくためには、行政と議会が一体となって、予算の重点化・効率化を推進しながら、的確な施策を推進していくことが必要であります。

理事者並びに委員の皆様におかれましては、本委員会における論議も踏まえ、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして、御礼のことばとかえさせていただきます。

誠に、ありがとうございました。

以上をもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

— 午前10時18分 閉会 —

令和6年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第117号議案	令和6年度長崎県一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○
	第118号議案	令和6年度長崎県県営林特別会計補正予算（第1号）				○
	第119号議案	令和6年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第2号）			○	

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

令和6年12月20日

予算決算委員会委員長 宅島 寿一

議長 徳永 達也 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 93 号 議 案	令和 6 年度長崎県一般会計補正予算 (第 4 号)	原 案 可 決
第 94 号 議 案	令和 6 年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
第 95 号 議 案	令和 6 年度長崎県流域下水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
報 告 第 17 号	令和 6 年度長崎県一般会計補正予算 (第 3 号)	承 認
第 117 号 議 案	令和 6 年度長崎県一般会計補正予算 (第 5 号)	原 案 可 決
第 118 号 議 案	令和 6 年度長崎県県営林特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
第 119 号 議 案	令和 6 年度長崎県流域下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	原 案 可 決

計 7 件 (原案可決 6 件・承認 1 件)

委員 長 宅 島 寿 一

副 委 員 長 まきやま 大 和

署 名 委 員 山 口 初 實

署 名 委 員 中 村 一 三

書 記 川 原 孝 行